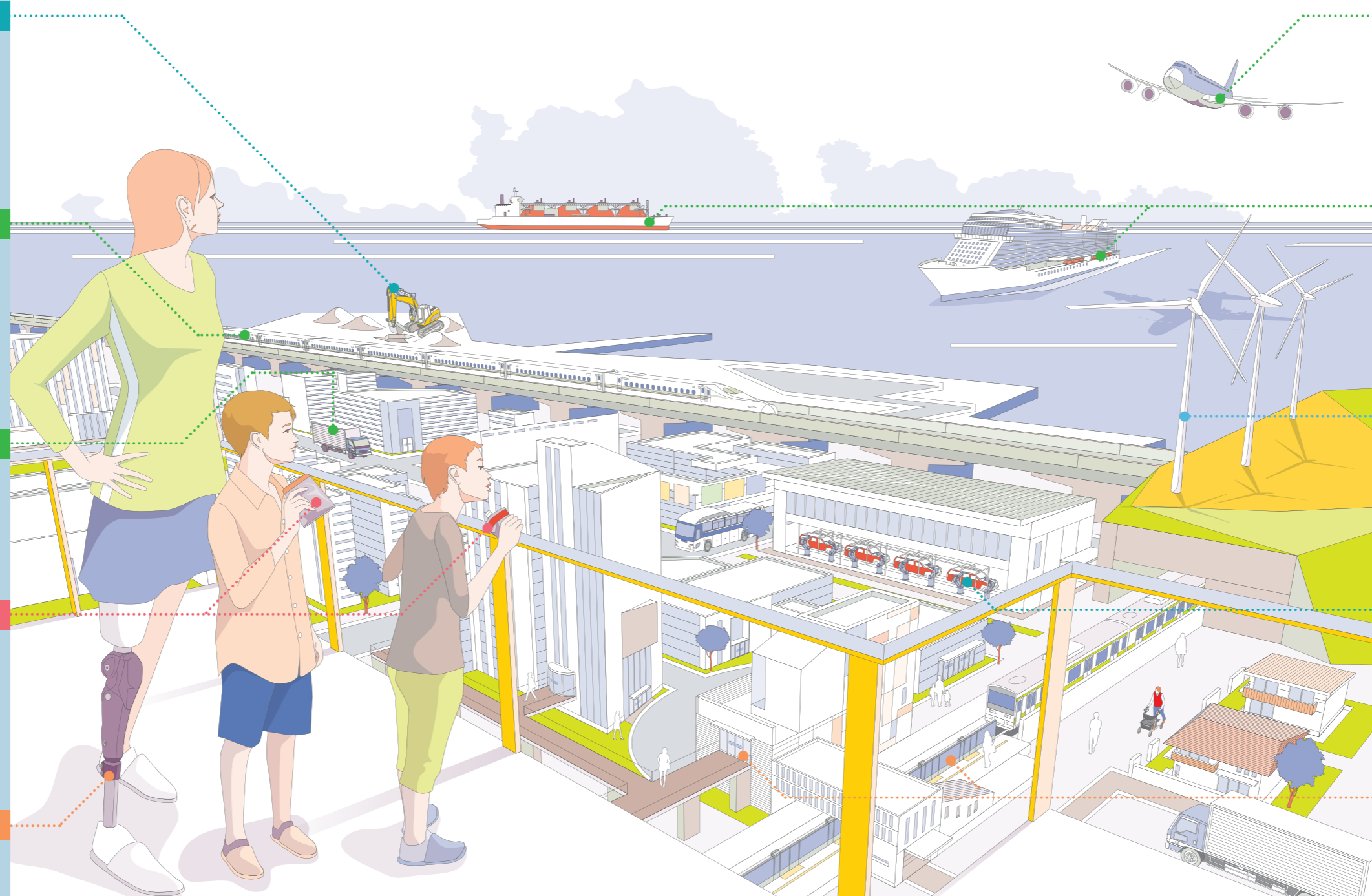


ナブテスコは、「うごかす、とめる。」モーションコントロール技術で、「安全・安心・快適」な暮らしのお手伝いをする会社です。

私たちは、「ものづくり・まちづくり」「人やものの移動」「日常生活と福祉」「生活用品の生産」など、あなたの身の周りの幅広い領域で、社会課題の解決に貢献しています。



油圧機器

インフラの整備に欠かせない機器の提供により人々の暮らしを支えます。



パワーショベル用走行ユニット

鉄道車両用機器

鉄道輸送システムの安全、定時運行に貢献しています。



鉄道車両用ブレーキ制御装置

商用車用機器

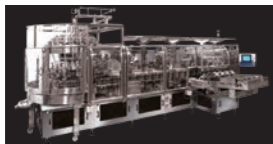
電動化対応を進め、環境負荷を低減します。



電動エアコンプレッサー

包装機

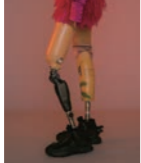
食品ロスの削減や限りある資源の活用に貢献しています。



超高速自動充填包装機

福祉機器

すべての人がともに生き生きと参加できる、「ノーマライゼーション」の実現に貢献します。



電子制御義足膝継手「ALLUX™2」

航空機器

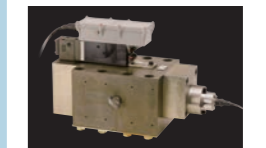


航空機の安全運航に貢献しています。

フライト・コントロール・アクチュエーション・システム

船用機器

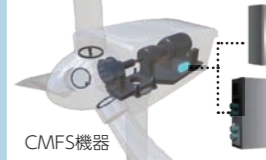
船舶の安全運航、安全かつ安定的な海上輸送に貢献しています。



電子制御油圧バルブ

風力発電機用CMFS機器

風力発電機の故障回避や長寿命化に貢献します。



CMFS機器

精密減速機

産業用ロボットの進化を通して、ものづくりの自動化に寄与しています。



精密減速機RV™-Z

自動ドア・プラットホームドア

生活空間へのさらなる安全・安心・快適の提供を通じ、ESG課題の解決に貢献します。



建物用自動ドア

コンポーネントソリューション事業 (CMP)

トランスポートソリューション事業 (TRS)

アクセシビリティソリューション事業 (ACB)

マニュファクチャリングソリューション事業 (MFR)

ものづくり
まちづくり

- 精密減速機
- 油圧機器

人や
ものの移動

- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 商用車用機器
- 船用機器

日常生活と
福祉

- 建物用自動ドア・プラットホームドア
- 福祉機器

生活用品の
生産

- 包装機

革新を生み出すDNA

「期待に応え、期待を超える」ナブテスコの歩み

ナブテスコの前身となる2社はそれぞれ大きな飛躍につながる挑戦を繰り返し、

現在のグループを支える技術基盤や事業基盤を作り上げてきました。

その根本には、お客さまや社会の「期待に応え、期待を超える」革新を生み出すDNAがあります。

1986年 精密減速機が産業用ロボットに初採用



精密減速機RV™記者発表
(1986年7月15日、東京・ホテルグランドパレス)

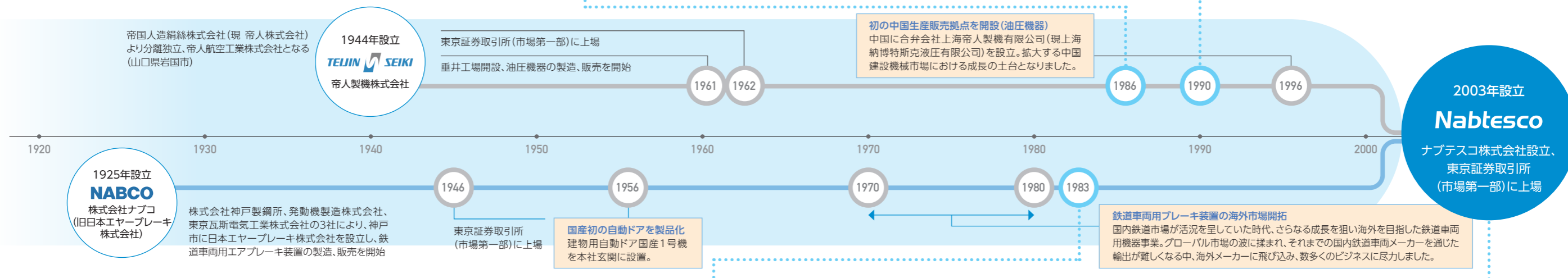
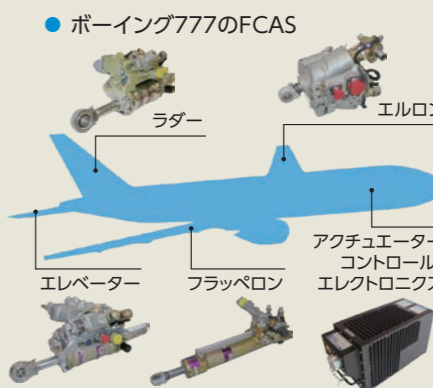
1980年代前半、帝人製機岐阜第2工場(現垂井工場)の主力製品は建設機械向け油圧走行ユニットでしたが、すでに市場は成熟しつつあり、新たな市場開拓が求められていました。そこで着目されたのが産業用ロボット市場でした。後発の当社が参入できる可能性は低いと思われていましたが、走行ユニットの開発で培った、高剛性でタフな減速機構の技術を磨き、産業用ロボットの関節に使われる「精密減速機RV™」の開発に成功。その後も高い品質・技術力、生産量でオセロの石をひっくり返すように業界地図を塗り替えました。ナブテスコの精密減速機は今日に至るまで、産業用ロボット市場の進化や拡大に貢献し続けています。

1990年 ボーイング777向けFCAS*受注

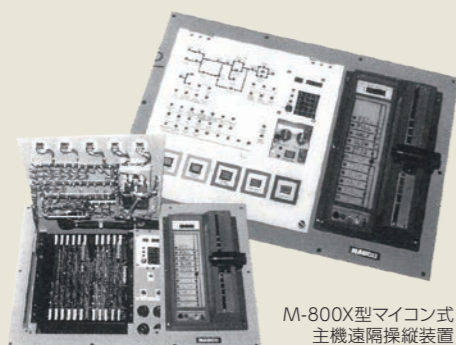
1990年、帝人製機はB777プログラムにおいてフライト・コントロール・アクチュエーション・システム(FCAS)の初受注を果たしました。世界の民間機で初めて全主要舵面にフライバイワイヤー方式のアクチュエーターが採用されたB777は大型機のベストセラーとなり、航空機器事業のポジションが飛躍的に高まりました。本受注は航空機器事業の転換点となり、その後の各種機体開発への参画を通じボーイング社との信頼関係を高め、B737MAXや最新鋭機B777Xの受注にもつながっています。

*FCAS(フライト・コントロール・アクチュエーション・システム)

主翼の補助翼や尾翼の昇降舵などの可動翼を動作させ、機体の飛行姿勢を制御するシステム



1983年 船用機器:マイコン式遠隔操縦装置の開発



M-800X型マイコン式
主機遠隔操縦装置

1970年代、オイルショックで船舶業界全体が苦境にあえぐ中、まだ世に出始めたばかりのマイクロコンピューター(マイコン)にいち早く目をつけ、事業部一丸となってマイコン式遠隔操縦装置の開発、量産、拡販、世界的なサービス体制の構築に取り組みました。船舶の自動化や低燃費性といったニーズに応える強力な製品となっただけでなく、簡単にメンテナンス可能な装置を開発したことで、サービスエンジニアが行う作業の効率化も実現し、グローバルなMRO*サービス展開の加速につながりました。

*Maintenance, Repair, Overhaulの略

2003年 ナブテスコ株式会社 設立

航空機部品の製造を主要事業として誕生した帝人製機と、鉄道車両用エアブレーキのメーカーとして歩み続けてきたナブコ。積極的に技術を磨き、事業を拡大してきた両社が、2003年に経営統合し、ナブテスコ株式会社が生まれました。統合により連結売上高1,000億円強の独立した企業となったナブテスコは、従来の親会社や系列の枠組みから一歩外に踏み出し、両社が培ってきた諸資本を融合して、自らの手で確固たる成長を実現するための歩みをスタートしました。



握手する帝人製機の興津誠社長(右)と
ナブコの岩重重雄社長(左)

成長の軌跡

統合前から受け継ぐ事業基盤を活かし、着実に成長を重ねてきました。

ナブテスコは、帝人製機とナブコの統合により2003年に誕生し、2023年に20周年を迎えます。設立以来、両社から受け継ぐ経営基盤を強固なものとしながら、成長を重ねてきました。2030年の長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画「挑戦の中期」を確実に実行することで、さらなる成長を目指していきます。



2023年10月に
設立20周年を迎えます。

従来取り組んだポートフォリオマネジメント

統合後に撤退・再編した事業

撤退	再編
<ul style="list-style-type: none"> IT関連製品事業 自動車・自動二輪車用部品事業 繊維機械の保守関連事業 真空機器・装置事業 など 	<ul style="list-style-type: none"> 商用車用機器事業を分社化 (ナブテスコオートモーティブ株式会社設立) 油圧機器事業の中国生産体制を再構築 新エネルギー事業本部を廃止

M&Aによってグループに迎え入れた企業

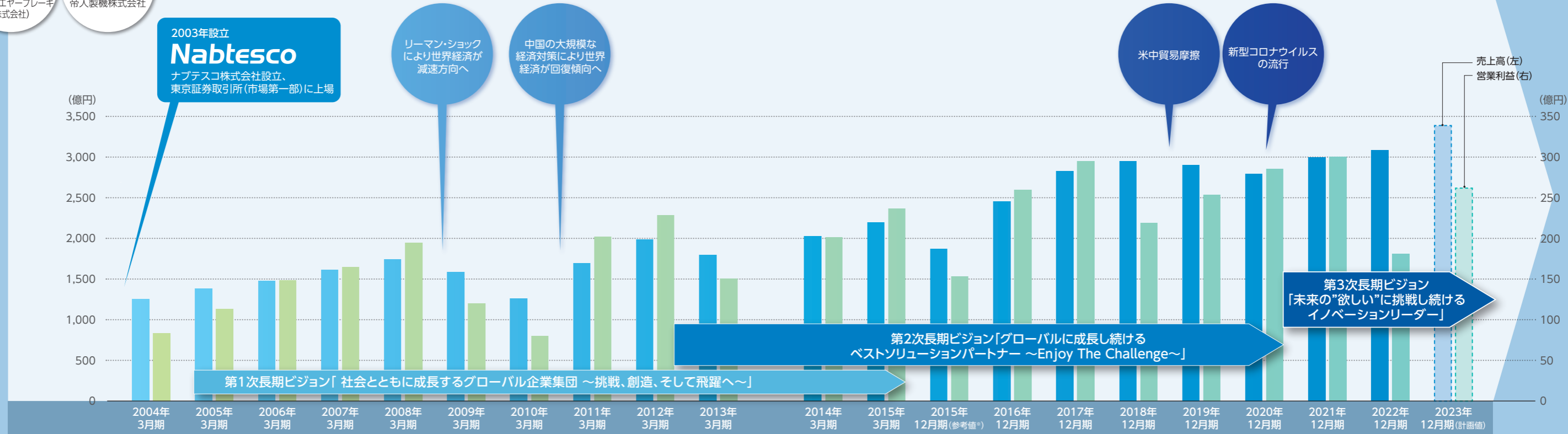
油圧機器	鉄道車両用機器	自動ドア	包装機	本社(技術本部)
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ハイエストコーポレーション 	<ul style="list-style-type: none"> OCLAP S.R.L. (イタリア) 	<ul style="list-style-type: none"> Gilgen Door Systems AG(スイス) ナブコドア株式会社 ナブコシステム株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> Engilico Engineering Solutions NV (ベルギー) 	<ul style="list-style-type: none"> OVALO GmbH/adcos GmbH (ドイツ)

事業共創

CVC出資事例	共同開発
<ul style="list-style-type: none"> 電動化技術 船舶最適航路計画・状態監視技術 衛星打ち上げ技術 	<ul style="list-style-type: none"> 風力発電機用スマートセンサー技術 バッテリーシステム技術 等

1925年設立
NABCO
株式会社ナブコ
(旧日本エヤーブレーキ株式会社)

1944年設立
TEIJIN SEIKI
帝人製機株式会社



中期経営計画の実行期間

経営基盤の強化

- 関係資本
- 財務資本
- 製造資本
- 組織資本
- 人的資本

<p>2004-2005</p> <ul style="list-style-type: none"> 帝人製機・ナブコを吸収合併、事業持ち株会社へ移行 社内カンパニー制度と執行役員制度の導入 ナブテスコグループ企業倫理綱領およびナブテスコ行動基準の策定 グループESH委員会の設置 	<p>2006-2008</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業理念、第1次長期ビジョンの策定 	<p>2009-2011</p> <ul style="list-style-type: none"> 商用車用機器における不採算事業からの撤退および事業構造の再構築を実施 グループ品質・PL委員会の設置 	<p>2012-2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ナブテスコウェイの制定 国連グローバルコンパクトに参加・署名 ナブテスコグループCSR調達方針の制定 	<p>2015-2016</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外連結子会社と決算期を統一するため、決算期を3月から12月に変更 コンプライアンス委員会、CSR委員会、リスクマネジメント委員会を設置 CSR基本方針を制定 ナブテスコグループ倫理規定の制定 	<p>2017-2021</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会計基準(IFRS)の任意適用開始 ナブテスコR&Dセンターの設置 ナブテスコグループ人権方針の策定 ナブテスコグループ企業市民活動方針の策定 CVCの設立 SBT1.5°C目標の設定 「人材の多様性の確保についての考え方」を策定 	<p>2022-2024 挑戦の中期</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境理念・環境行動指針改定 人的資本経営の推進 社内アイデア事業化制度 カンパニーイノベーション支援制度 ナブテスコウェイ改定 イノベーション戦略室の設置
---	--	--	---	--	--	---

※決算期変更に伴い、同条件で比較を行うため比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値